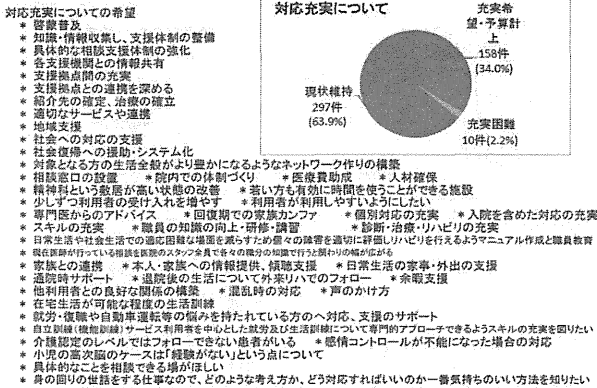
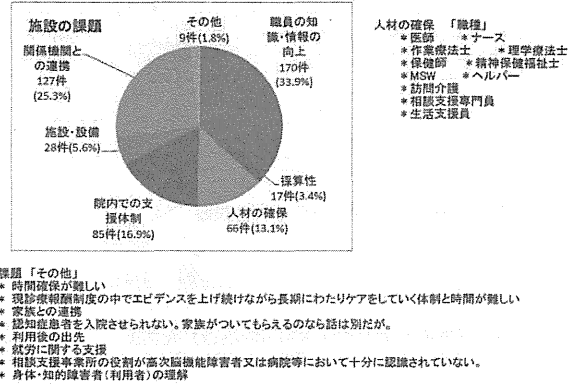


「病院、有床・無床診療所、福祉サービス提供機関、市町村」



施設の課題:職員の意識向上、人材確保、支援体制の充実

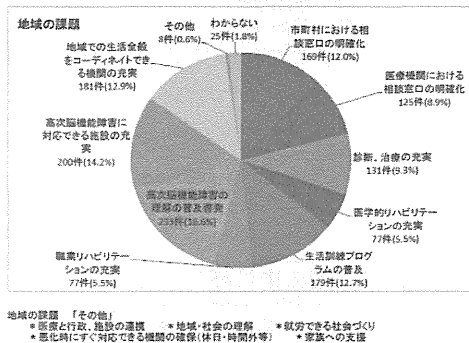
「病院、有床・無床診療所、福祉サービス提供機関、市町村」



地域には様々な課題がある

相談窓口・連携先の明確化
生活訓練・就労リハプログラムの充実
施設・スタッフの充実

「病院、有床・無床診療所、福祉サービス提供機関、市町村」



まとめ

- 高次脳機能障害の理解度は高まってはいるが、いまだ十分とはいえない。
- 各施設での取り組み、支援体制、人材確保の改善が望まれる。
- 地域での連携、支援ネットワークの機能が十分とはいえない。
- 就労、就学への取り組みは継続的に改善することが望まれる。

現状

● 県内の新規高次脳機能障害者 毎年 158人 (推計)
(平成24年度 高知県調査)

【高次脳機能障害とは・・・?】
脳卒中などの病気や交通事故など
けがによる脳の損傷の後遺症として、
記憶・注意・遂行機能、社会的
行動などに障害が起きた状態



● 「高次脳機能障害相談支援センター」を設置
高知ハビリテーションセンターに
相談対応・普及啓発等の業務を委託。
(平成20年11月～)



● 第2回「高次脳機能障害者支援体制資源調査」を実施
(※平成24年6月実施)

高次脳機能障害者支援体制資源調査

【調査の目的】 高次脳機能障害者支援に関わる県内の医療や福祉サービス等の実態を明らかにし、その資源を有効に活用できる連携の仕組みや、地域における支援体制の整備を検討するための基礎資料とする。

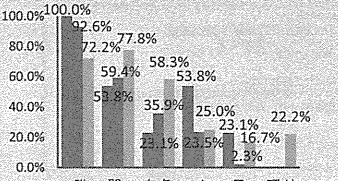
【調査の対象】

- 病院・診療所 (有床・無床) : 精神科、神経精神科、神経科、神経内科、脳神経外科、リハビリテーション科
- 福祉サービス提供機関
- 市町村・地域包括支援センター

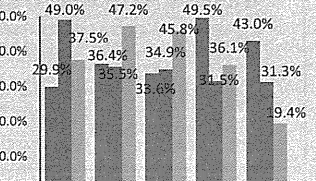
	発送数	回答数	回答率
医療機関	268	107	39.9%
福祉サービス提供機関	1,576	588	37.3%
市町村・地域包括支援センター	72	72	100.0%

【調査結果】 (※一部抜粋)

高次脳機能障害者への対応を充実する上で、問題と考えること (複数回答)



支援を充実する上で、地域において課題だと考えること (複数回答)



見えにくい障害に対する周囲の人の理解が大切です。
◆ 高次脳機能障害者の発生数の推計: 158人 (高知県における年間発生数)

県内の高次脳機能障害者数の推計: 1,222人 (64歳以下)
(平成20年東京都高次脳機能障害者実態調査からの推計値)

県内の高次脳機能障害支援及び県の取組みの経過

- 平成15年 3月 県内で初めて当事者・家族の集まりを高知市保健福祉センターで開催
- 平成17年12月 NPO法人脳外傷友の会高知青い空による小規模作業所「青い空」オープン → H23.4月就労継続Bに移行
- 平成19年 3月 第1回高次脳機能障害者支援体制資源調査 (高知県)
- 平成20年11月 支援拠点として (社会福祉法人ファミユ高知) 高知ハビリテーションセンターに高次脳機能障害相談支援センターを設置
- 平成24年 6月 第2回高次脳機能障害者支援体制資源調査 (高知県)

課題

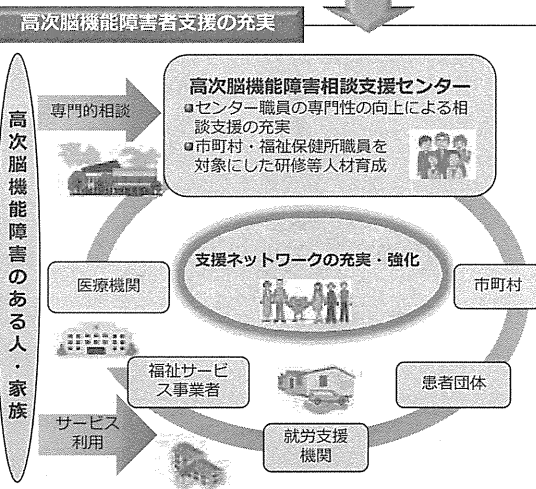
- ① 高次脳機能障害についての理解が不十分
 - ・ 精神障害者保健福祉手帳制度の対象となることなど、福祉制度の周知
 - ・ 医療機関、福祉サービス提供機関及び市町村等職員の知識・情報の向上
 - ・ 地域住民の意識・理解の向上
- ② 高次脳機能障害者支援のための社会資源の不足
 - ・ 市町村や福祉保健所など地域の身近な相談窓口
 - ・ 診断・治療ができる医療機関
 - ・ 特性に応じた対応が可能な福祉サービス事業所や施設等
- ③ 高次脳機能障害相談支援センターと専門医療機関、福祉サービス事業所及び行政機関等の支援ネットワークが不十分
 - ・ 関係機関の連携、支援ネットワークの構築

平成25年度の取り組み

- 【高次脳機能障害相談支援センター (支援拠点) の機能充実・強化】
支援拠点としての専門性の向上及び関係機関への知識の普及の機能について充実強化する。
(人材育成)
- ◆ センター職員の専門性の向上
高次脳機能障害者の方への支援方法の指導、リハビリテーション及び環境整備ができる専門家を養成
→ 関係機関からの相談対応を充実させるとともに、26年度以降の人材養成 (福祉サービス提供機関等の支援者を対象) につなげる。
- ◆ 市町村や福祉保健所の職員を対象とした人材育成研修の実施
最初の相談窓口となることが多い市町村や福祉保健所の職員が、高次脳機能障害に関する相談に対応ができるよう、職員を対象とした研修会を開催する。
- 【支援ネットワークの充実・強化】
事業の実施状況の分析や効果的な支援方法等について検討してきた支援委員会を発展させた「高次脳機能障害支援ネットワーク会議」を立ち上げ、支援ネットワークの充実に主眼を置いた検討を行う。

今後の取り組み

	~H24	H25	H26	H27	H28~
① 高次脳機能障害相談支援センターを拠点とした相談支援・普及啓発 (H20.11~)		高次脳機能障害相談支援センターの設置 (H20~)			
② 高次脳機能障害への対応ができる人材の育成		相談対応・支援のための人材養成 (相談支援センター職員)	人材育成 (H20~)	支援機関への指導ができる専門家の養成 (H25~)	市町村・福祉保健所職員対象の研修実施 (H25~)
③ 高次脳機能障害相談支援センターと関係機関とのネットワークの構築		支援体制資源調査の実施 (H18、H24)	支援委員会	ネットワーク会議	専門職員対象の研修実施 (H26~)
				ネットワークの充実・強化	



厚生労働科学研究費補助金（障害者対策総合研究事業）

（分担）平成 25 年度研究報告書

高次脳機能障害者の社会参加支援の推進に関する研究

研究分担者 蜂須賀 研二 産業医科大学リハビリテーション医学講座・教授

研究要旨：①九州各県で高次脳機能障害支援を推進するために、九州各県から 12 名の九州ブロック委員を選任し、行政担当者と合同でのブロック会議、また 2 回の支援コーディネーター会議を開催した。ブロック会議では各県における研修会の内容、地域生活支援体制や支援実施状況等を報告し討論した。九州地区では 14 箇所の支援拠点機関を中心として、支援コーディネーターは（一部、医師や担当者を含む）36 名が配置され、相談件数は電話 3,110 件、来所 1,878 件、メール・書簡 216 件、その他 217 件であり、合計すると 5,421 件であった。また、各県内で主催した連絡会や協議会は 105 回、参加者 684 人であり、研修事業は 40 回、参加者は 3,848 人であった。②産業医科大学では高次脳機能障害者の地域生活支援の一環として、a) 脳受容体シンチグラフィを臨床応用した意欲低下(アパシー)の診断に関する研究 b) 自動車運転再開とリハビリテーション（リハ）に関する研究 c) 長時間の注意持続評価法として外傷性脳損傷者と健常者の P300 の振幅変化を検討、d) 社会復帰準備のためのリハ学級の開催、等を実施した。

A. 研究目的

九州各県内に少なくとも 1 名のブロック委員を任命し、支援コーディネーターと協力して高次脳機能障害支援システムを確立させ、各種相談や連絡会・協議会および研修会・研究会を開催し、より適切な支援活動を行うこと、また、産業医科大学では高次脳機能障害支援に直接関係する臨床研究を実施して、その結果を高次脳機能障害支援推進に活用するとともに、広く成果を公表して高次脳機能障害者および家族に還元することを目的とした。

B. 研究方法

九州各県を代表する医療関係者にブロック委員を依頼し、ブロック委員は行政担当者、支援コーディネーターと協力して地域生活支援推進と体制構築を図る。また、ブロック委員、行政担当者、支援コーディネーターが合同で参加する九州ブロック会議を平成 25 年度は福岡県と宮崎県の 2 回とし、それぞれの県における高次脳機能障害地域支援体制や実施状況に関する情報を交換し、相互に進捗状況や実施状況を確認し、支援推進と体制構築に役立てる機会を増した。年度末にブロック委員および支援コーデ

イネイターからの活動報告を基に集計する。

産業医科大学で実施した高次脳機能障害に関する臨床研究の方法は以下の通りである。

1. 脳受容体シンチグラフィを臨床応用した意欲低下(アパシー)の診断

高次脳機能障害精査と脳受容体シンチグラフィを実施した外傷性脳損傷者 11 名を対象に検討した。診察と神経心理学的検査で高次脳機能障害と診断された 10 症例には脳受容体シンチグラフィにて両側前頭葉内側に集積低下を認め、高次脳機能障害ではないと診断した 1 例では同部位の集積低下を認めなかった。

2. 高次脳機能障害者の自動車運転再開とリハビリテーションに関する研究

高次脳機能障害者の自動車運転適性の判定に積極的に取り組み、発信している全国の施設が集まり、産業医科大学を事務局として「自動車運転再開とリハビリテーションに関する研究班」を立ち上げ、簡易自動車運転シミュレーター (Simple Driving Simulator ; SiDS) の作成、共同研究計画の策定などを行った。平成 25 年 10 月 25 日には第 1 回自動車運転再開とリハビリテーションに関する研究会 (参加者 450 名) を北九州国際会議場で開催した。

3. 高次脳機能障害者の復職評価のための注意持続検査

長時間の注意持続評価法として、750 回刺激による 21 分間の聴覚オドボール課題時の P300 を、外傷性脳損傷者 21 名、健常者 14 名に実施した。健常者では時間経過とともに前帯状回での P300 振幅の大きな変化を認めたが外傷性脳損傷者では時間経過に伴う変化を認めなかった。

4. 社会復帰準備のためのリハビリテーション学級

水曜日の午後、約 2 時間 30 分の設定で 10 回、意欲の向上、障害理解の促進、社会技能向上などを目的とした集団訓練を実施した。内容は、スタッフが交代ではじめに話題提供の挨拶、医師による小講義、臨床心理士による社会技能訓練、人と人との関係を重視したレクリエーションとした。

C. 研究結果

1. 九州ブロックの研究成果

1)九州ブロック会議

厚生労働省「高次脳機能障害者の地域生活支援」研究班の趣旨に従い、昨年に引き続き各県 1 名 (佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県)、高次脳機能障害のリハを実践している代表的立場の医師にブロック委員を依頼した。なお、福岡県は高次脳機能障害支援モデル事業に参加した拠点機関の 3 名をブロック委員、1 名をオブザーバーとし、さらに事務局委員を 2 名とした。全体としてブロック委員は 12 名とした。

福岡県:

- ・北九州市 産業医科大学リハ医学講座・
教授 蜂須賀研二
- ・福岡市 福岡市立心身障がい福祉センター・
医師 小原葉子
- ・筑後地区 久留米大学高次脳疾患研究所・
教授 森田喜一郎
- ・福岡県域 福岡県身体障害者リハセンター・
センター長 城戸久登(オブザーバー)

佐賀県:佐賀大学・教授 浅見豊子

長崎県:長崎大学・教授 松坂誠應

熊本県:熊本大学精神科・講師 橋本 衛

大分県:諏訪の杜病院・院長 武居光雄

宮崎県:宮崎大学・教授 帖佐悦男

鹿児島県:鹿児島大学・名誉教授 浜田博文

沖縄県:ちゅうざん病院・院長 田中正一

【事務局委員】

産業医科大学リハ医学 講師 岡崎哲也

産業医科大学病院 高次脳機能障害支援

コーディネーター 甲斐明子

【事務局】

産業医科大学リハビリテーション医学講座

〒807-8555 北九州市八幡西区医生ヶ丘

1-1 Tel 093-691-7266

平成 25 年度厚労省科研費研究班九州ブロック会議・高次脳機能障害支援担当者会議

日程:平成 25 年 7 月 26 日

吉塚合同庁舎

(1)「研究班の平成 25 年度事業運営方針」

国立障害者リハビリテーションセンター

中島 八十一 学院長

(2)「高次脳機能障害者への取り組み」

熊本大学 神経精神科

橋本衛 講師

(3)「外傷性脳損傷者の IMZ SPECT

—高次脳機能障害の画像化の試み—

産業医科大学リハビリテーション医学講座

蜂須賀研二 教授

(4)「各県の取り組み状況」(平成 24 年度の成果および 25 年度の事業計画)

福岡県、佐賀県、長崎県、大分県、熊本県、鹿児島県、宮崎県、沖縄県の支援コーディネーターが各県における研修会の開催、地域生活支援や実施状況等に関して報告した。全ての県に支援拠点機関が開設され、支援コーディネーターが配置されている。今後は支援内容や提供できるサービスの質を向上させる必要がある。

2)九州地区の活動の概要

本年度は九州全県に少なくとも 1カ所以上の高次脳機能障害支援拠点機関が設置され合計 14カ所となった。高次脳機能障害支援コーディネーターは各機関に 1 名以上配属され、合計 36 名であった(サブコーディネーター 7 名を含む)。

相談件数は電話 3110 件、来所 1, 878 件、メール・書簡 216 件、その他 217 件であり、合計すると 5,421 件であった。また、各県内で主催した連絡会や協議会は 105 回、参加者 684 名であり、研修事業は 40 回、参加者は 3,848 名であった。

各県の高次脳機能障害支援拠点機関と支援コーディネーター(含む担当医、担当者)を下記に示す。

福岡県

- 福岡県障害者リハビリテーションセンター

〒811-3113 古賀市千鳥3-1-1

TEL 092-944-1041

下濱和義 (社会福祉士)

秋竹理美 (社会福祉士)

- 産業医科大学病院

〒807-8555 北九州市八幡西区医生ヶ丘

1-1

TEL 093-603-1611(代)

甲斐明子(臨床心理士)

上原純子(臨床心理士)

- 久留米大学病院 高次脳疾患研究所

〒830-0011 福岡県久留米市旭町67

TEL 0942-35-3311(代)

弥吉江理奈(精神保健福祉士)

- 福岡市立心身障がい福祉センター

(あいあいセンター)

〒810-0072 福岡市中央区長浜1-2-8

TEL 092-721-1611

和田明美(理学療法士)
佐賀県
(リハビリテーション科)
〒849-8501 佐賀市鍋島 5-1-1
TEL 0952-34-3285
小野茂伸(言語聴覚士)

・ 佐賀大学医学部附属病院
先進総合機能回復センター
井戸裕彦(作業療法士)

長崎県
・ 長崎こども・女性・障害者支援センター
精神保健福祉課
高次脳機能障害者支援班
〒852-8114 長崎市橋口町10-22
TEL 095-844-5515

熊本県
・ 熊本大学医学部附属病院神経精神科
熊本県高次脳機能障害者支援センター
〒860-8556 熊本市本荘1-1-1
TEL 専門ホットライン 096-272-5784
田中希(精神保健福祉士)

平成25年度 高次脳機能障害支援拠点機関における相談支援実績 (H25年4月1日～H26年3月31日分)

都道府県	機関名	直接相談の件数				間接相談の件数				備考
		電話	来院/ 来所	メール・書 簡	その他 (訪問・出張)	電話	来院/ 来所	メール・書 簡	その他 (訪問・出張)	
福岡県	福岡県障害者リハビリテーションセンター	67	86	1	2	79	2	0	2	
福岡県	産業医科大学病院	57	144	0	0	109	8	0	4	
福岡県	福岡市立心身障がい福祉センター	116	109	6	18	210	34	3	21	
福岡県	久留米大学病院	100	169	1	1	64	8	4	3	
佐賀県	佐賀大学医学部附属病院	94	208	2	10	108	206	3	8	
長崎県	長崎こども・女性・障害者支援センター	128	66	0	6	243	7	3	52	
熊本県	熊本県高次脳機能障害支援センター	249	254	52	13	296	21	115	21	
大分県	諏訪の杜病院	83	152	2	3	104	18	1	14	
大分県	社会福祉法人農協共済別府リハビリテーションセンター	95	18	4	3	70	40	13	3	
宮崎県	宮崎県身体障害者相談センター	52	34	1	0	43	6	0	0	
宮崎県	宮崎大学医学部附属病院	0	6	0	0	5	14	0	0	
鹿児島県	鹿児島県精神保健福祉センター	169	54	0	3	173	18	1	4	
沖縄県	平安病院	73	71	0	19	77	3	0	0	
沖縄県	沖縄リハビリテーションセンター病院	149	103	0	4	97	19	4	3	
	合計	1,432	1,474	69	82	1,678	404	147	135	合計 5,421

大分県
・ 社会福祉法人 農協共済別府リハビリテーションセンター
実践リハビリテーション部
社会復帰支援課

〒874-0840 大分県別府市鶴見1026-10
TEL 0977-67-1711(代)
安藤靖浩(精神保健福祉士)
・ 医療法人 光心会 諏訪の杜病院
〒870-0945 大分県大分市津守 888-6

TEL 097-567-1277(代)

浅倉恵子(作業療法士)

宮崎県

- ・ 宮崎県身体障害者相談センター

〒880-0032 宮崎県宮崎市霧島 1-1-2

TEL 0985-29-2556

平田茂樹(行政)

有木昌子(保健師)

鹿児島県

- ・ 鹿児島県高次脳機能障害者支援センター

〒890-0021 鹿児島県小野 1-1-1

TEL 099-228-9568

尾上佳代子(保健師)

沖縄県

- ・ 沖縄リハビリテーションセンター病院

高次脳デイケア

沖縄県沖縄市比屋根2-15-1

TEL 098-982-1863

鈴木里志(作業療法士)

平良 淳子(精神保健福祉士)

- ・ 医療法人へいあん 平安病院

地域連携係

〒901-2127 沖縄県浦添市字経塚346番地

TEL 098-877-6467(内線230・237)

赤嶺洋司(臨床心理士)

新垣香織(精神保健福祉士)

比嘉弥生(精神保健福祉士)

3)各県の活動成果の報告

福岡県

<支援拠点(協力)機関名>

福岡県障害者リハビリテーションセンター

〒811-3113

古賀市千鳥3丁目1番1号

TEL 092-944-1041

【相談支援コーディネーター(職種)】

下濱 和義 (社会福祉士)

秋竹 理美 (社会福祉士)

【相談事業】

合計: 214 件

内訳: 新規相談 138 件

電話 123 件

来所 11 件

訪問 4 件

: 継続支援 76 件

電話 19 件

来所 56 件

メール 1 件

【主催した連絡会・協議会】

○高次脳機能障害相談支援体制連携調整委員会

(1) 第1回高次脳機能障害相談支援体制連携調整委員会

・平成25年 7月18日(木)

・吉塚合同庁舎 701会議室(福岡市)

・参加者31名(オブザーバー含む)

(2) 第2回高次脳機能障害相談支援体制連携調整委員会

・平成26年 2月 6日(木)

・吉塚合同庁舎 特5会議室(福岡市)

・参加者30名(オブザーバー含む)

○ネットワーク会議

第1回ネットワーク会議

・平成25年 5月 2日(金)

・参加者 7名

・福岡県庁行政棟

第2回ネットワーク会議

・平成25年 5月31日(金)

・参加者 7名

・吉塚合同庁舎

第3回ネットワーク会議

・平成25年 8月21日(水)

・参加者 7名

・クローバープラザ506研修室

第4回ネットワーク会議

・平成25年10月18日(金)

・参加者 7名

・北九州総合保健福祉センター

【主催した研修事業】

○平成25年度高次脳機能障害支援事業研修会
及び事例検討会

(1) 高次脳機能障害支援実践セミナー
(行政関係者編)

・平成25年 8月21日(水)

・クローバープラザ506研修室AB(春日市)

・参加者81名

・概要

①「高次脳機能障害支援事業について」

講師：井手 大輔 氏

(福岡県保健医療介護部健康増進課こころの健康づくり推進室)

②「高次脳機能障害について」基礎編(講演)

講師：岡崎 哲也 氏

(産業医科大学リハビリテーション医学講座
講師)

③「高次脳機能障害相談支援の紹介」

福岡県身体障害者リハビリテーションセンター
産業医科大学病院

久留米大学病院

福岡市立心身障がい福祉センター

(2) 高次脳機能障害支援実践セミナー(医療・
福祉・教育等従事者編)

・平成25年10月18日(金)

・北九州市総合保健福祉センター

講堂

・参加者114名

・概要

①「高次脳機能障害者の症状と対応について」
(講演)

講師：岡崎 哲也 氏

(産業医科大学リハビリテーション医学講座
講師)

②「当事者・家族からの話」

③「事業所の取り組みについて」

(3) 高次脳機能障害講演会

・平成26年 2月11日(火)

・クローバープラザ クローバーホール(春日市)

・参加者数192名

・概要

①「高次脳機能障害者の生活の中での対応について」(講演)

講師：阿部 順子 氏

(岐阜医療科学大学保健科学部
看護学科 教授)

【主催したケース会議、勉強会、研究会、家族
会、交流会等】

○ケース会議 53回

【協力した会合】

○福岡翼の会講演会

・平成25年 6月 1日

・福岡市立心身障害福祉センター

○支援コーディネーター全国会議

第1回 平成25年6月25日(火)

国立障害者リハビリテーションセンター

第2回 平成26年2月20日(木) 三田共
用会議所

○高次脳機能障害支援普及全国連絡協議会

第1回 平成25年6月26日(水)

国立障害者リハビリテーションセンター

第2回 平成26年2月21日(金) 三田共用会議所

○厚労科研費研究班第1回九州ブロック支援コーディネーター会議

・平成25年 7月26日(金)

・吉塚合同庁舎 特5会議室

○厚労科研費研究班九州ブロック会議・高次脳機能障害者支援担当者会議

・平成25年 7月26日(金)

・吉塚合同庁舎 603会議室

○厚労科研費研究班第2回九州ブロック支援コーディネーター会議

・平成25年 10月11日(金)～10月12日(土)

・宮崎県庁3号館4階会議室

○講師派遣

福岡県相談支援従事者現任研修

・平成25年10月26日(金)

・吉塚合同庁舎 603会議室

・「都道府県地域生活支援事業について」

・下瀆和義 参加者 157名

福津市市民後見人養成研修

・平成25年10月26日(金)

・福津市健康福祉総合センター

「ふくとぴあ」

・「高次脳機能障害の理解」

・下瀆和義 参加者 37名

リーベルネットワーク生活支援分科会

・平成25年12月20日(金)

・八女市社会福祉会館

・「高次脳機能障害」事例検討会

・下瀆和義、牟田 茂 参加者 26名

福岡県リハビリテーション講習会

・平成26年1月18日(土)

・北九州国際会議場 国際会議室

・「高次脳機能障害支援コーディネーターの活動を通じて」

・下瀆和義 参加者 86名

【活動内容】

◇専門相談ホットラインによる相談受付

◇広報・啓発

ホームページに掲載

関係機関・病院を訪問しリーフレットを配布

◇自立訓練(生活訓練)を希望する利用者の受け入れ

(定員18名、平成26年3月現在15名)

◇月に1回専門医による面接、訓練指導および助言

◇家族支援相談会の開催

福岡県障害者リハビリテーションセンター(5回)

クローバープラザ(4回)

県保健福祉(環境)事務所(3回)

【事業課題】

関係機関とのネットワーク作り

自立訓練(生活訓練)の見直し

<支援拠点(協力)機関名>

産業医科大学病院

〒807-8556

北九州市八幡西区医生ヶ丘1-1

TEL: 093-603-1611

【相談支援コーディネーター(職種)】

甲斐明子(臨床心理士)

上原純子(臨床心理士)

【相談事業】

◇当事者／家族からの直接相談のべ件数

合計：201 件

内訳：電話 57 件
来院／来所 144 件
メール・書簡 0 件
その他 0 件

◇機関・施設等からの間接相談のべ件数

合計：121 件

内訳：電話 109 件
来院／来所 8 件
メール・書簡 4 件
その他 0 件

【主催した連絡会・協議会】

1. 合同会議：平成25年度厚労省科研費研究班九州ブロック会議・高次脳機能障害支援担当者会議（行政関係者）を開催

1) 第1回厚労省科研費研究班九州ブロック会議・高次脳機能障害支援担当者会議（行政関係者）

平成25年7月26日 吉塚合同庁舎
参加者43名

(1)「高次脳機能障害及びその関連障害に対する支援普及事業平成25年度事業運営方針」

国立リハビリテーションセンター学院長 中島八十一

(2)「高次脳機能障害者への取り組み」

熊本大学 神経精神科・講師 橋本衛

(3)「外傷性脳損傷者のIMZ SPECT－高次脳機能障害の画像化の試み－」

産業医科大学リハビリテーション医学講座・教授 蜂須賀研二

(4)「各県の取り組み状況」

福岡県、佐賀県、長崎県、大分県、熊本県、鹿児島県、沖縄県、宮崎県より

2) 第1回厚労省科研費研究班九州ブロック支援コーディネーター会議

平成25年7月26日 吉塚合同庁舎

参加者15名

(1)各県の取り組みの発表及び意見交換

(2)生活支援、就労支援、困難事例等について検討

3) 第2回厚労省科研費研究班九州ブロック支援コーディネーター会議

平成25年10月11日 宮崎県庁

参加者22名

(1)「高次脳機能障害者の自動車運転再開の諸問題」

産業医科大学 リハビリテーション医学講座 蜂須賀研二

(2)「診断に難渋する症例」

産業医科大学 リハビリテーション医学講座 岡崎哲也

(3)各県の取り組みの発表及び意見交換

(4)生活支援、就労支援、困難事例等について検討

【主催した研修事業】

1. 福岡県リハビリテーション講習会の開催

平成26年1月18日（土）

北九州国際会議場・国際会議室 86名

1) 特別講演

座長：産業医科大学リハビリテーション医学講座 教授 蜂須賀研二

「高次脳機能障害の理解と支援－当院での経験」

神奈川リハビリテーション病院高次脳機能障害支援室長 青木重陽

2) 講演2

座長：産業医科大学リハビリテーション医学講座 講師 岡崎哲也

「医療従事者が体験した脳損傷」
麻生リハビリテーション大学校 作業療法学
科 松田茂

3) グループディスカッション
「高次脳機能障害支援コーディネーターの活動
を通じて」

産業医科大学病院 甲斐明子
福岡県障害者リハビリテーションセンター
下濱和義

福岡市立心身障がい福祉センター

和田明美

久留米大学病院 弥吉江理奈

4) 講演3

座長：産業医科大学リハビリテーション医学
講座 講師 岡崎哲也

「日本脳外傷友の会の現況と課題」

NPO 法人コネクト 日本脳外傷友の会 理事
長 東川悦子

5) 閉会の挨拶

「産業医科大学高次脳機能障害リハビリテーシ
ョンの歩みと挨拶」

座長：産業医科大学リハビリテーション医学
講座 教授 蜂須賀研二

【主催したケース会議, 勉強会, 研究会, 家族
会, 交流会等】

1. TBI カンファレンスの開催

4月17日、5月15日、6月19日、7月17日、9
月18日、10月16日、11月20日、12月18日、
1月22日、2月26日、3月19日

【協力した会合】

1. 福岡県、北九州市、各種団体が主催する研
修会への講師派遣

1) 福岡県高次脳機能障害支援事業
高次脳機能障害支援実践セミナー

(1) 行政関係者編

平成25年8月28日

クローバープラザ 参加者81名

①「高次脳機能障害支援事業について」

福岡県保健医療介護部健康増進課精神保健係
井手大輔

②「高次脳機能障害とは」

産業医科大学リハビリテーション医学講座
岡崎哲也

③「当事者・家族からの話」

④「高次脳機能障害相談支援の紹介」

産業医科大学病院高次脳機能障害支援コーデ
イナー 甲斐明子

福岡県障害者リハビリテーションセンター

下濱和義

福岡市立心身障がい福祉センター

和田明美

久留米大学病院 弥吉江理奈

(2) 医療・福祉等従事者編

平成25年10月18日

北九州市総合保健福祉センター

参加者114名

① 高次脳機能障害者の症状と対応について」

産業医科大学リハビリテーション医学講座 岡
崎哲也

②「当事者・家族からの話」

③「事業所の取り組みについて」

NPO 法人福岡・翼の会

地域活動支援センター「翼」中川修一

障害福祉サービス事業多機能型みらい 横山絵
美

2. 福岡県が主催する研修会への参加

1) 福岡県高次脳機能障害支援事業 高次脳機能
障害講演会

平成26年2月11日 クローバープラザ

参加者192名

「高次脳機能障害者の生活の中での対応について」

岐阜医療科学大学 教授 阿部順子

3. 各機関が開催する研修会への参加

1) 日本脳外傷友の会第13回全国大会

平成25年9月27・28日

ホルトホール大分

2) 平成25年度高次脳機能障害支援事業関係職員研修会

平成25年6月26～28日

国立障害者リハビリテーションセンター学院

4. 福岡県高次脳機能障害相談支援体制連携調整委員会への参加

1) 第1回高次脳機能障害相談支援体制連携調整委員会

平成25年7月18日 吉塚合同庁舎

2) 第2回高次脳機能障害相談支援体制連携調整委員会

平成26年2月6日 吉塚合同庁舎

5. 福岡県高次脳機能障害支援ネットワーク会議への参加

1) 第1回ネットワーク会議

平成25年4月2日 福岡県庁

2) 第2回ネットワーク会議

平成25年5月31日 吉塚合同庁舎

3) 第3回ネットワーク会議

平成25年8月21日 クローバープラザ

4) 第4回ネットワーク会議

平成25年10月18日 北九州市総合保健福祉センター

6. 支援コーディネーター全国会議への参加

1) 第1回支援コーディネーター全国会議

平成25年6月25日

2) 第2回支援コーディネーター全国会議

平成26年2月20日

7. 高次脳機能障害支援普及全国連絡協議会への参加

1) 第1回高次脳機能障害支援普及全国連絡協議

平成25年6月26日

2) 第2回高次脳機能障害支援普及全国連絡協議

平成26年2月21日

8. 高次脳機能障害者支援情報マップ作成事業ワーキング検討会議

1) 第9回検討会議

平成25年5月18・19日 晴海グランドホテル

2) 第10回検討会議

平成25年9月14日 あすか会議室

3) 第11回検討会議

平成25年1月25日 あすか会議室

【活動内容】

1. 社会復帰支援のためのカンファレンスへの参加

2. 外来通院中の患者について、医師・産業療法士・障害者職業カウンセラー、ジョブコーチ、会社関係者とのカンファレンスの開催

3. 社会復帰準備のための高次脳機能障害リハビリテーション学級の開催

1) 平成25年度1学期

平成25年7月3・10・17・24・31日

8月7・14・21・28日

9月11・18日

4. 神経心理の評価

(コーディネーター実施分)

平成25年4月～平成26年3月

・RBMT 行動記憶検査 30件、BADs 24件

5. 第37回高次脳機能障害学会への参加

平成25年11月29・30日 松江県民会館

「ミネソタ多面人格目録 (MMPI) の分類による外傷性損傷者の心理社会的特性」

甲斐明子・橋本学・岡崎哲也・蜂須賀研二

【事業課題】

- ・高次脳機能障害を専門とする福祉施設の育成
- ・社会復帰準備のための集団訓練の普及

<支援拠点（協力）機関名>

福岡市立心身障がい福祉センター

（あいあいセンター）

〒810-0072

福岡市中央区長浜1-2-8

TEL 092-721-1611

【相談支援コーディネーター（職種）】

和田 明美（理学療法士）

【相談事業】

合計517件

◇当事者・家族からの直接相談のべ件数

合計：249件

内訳：電話	116件
来所	109件
メール	6件
訪問	18件

◇機関・施設等からの間接相談のべ件数

合計：268件

内訳：電話	210件
来所	34件
メール	3件
訪問	21件

*平成25年4月1日～平成26年3月31日

【主催した連絡会・協議会】

1. 福岡県高次脳機能障害相談支援体制連携調整委員会

第1回 平成25年7月19日 吉塚合同庁舎

第2回 平成26年2月4日 吉塚合同庁舎

2. 福岡県高次脳機能障害支援ネットワーク会議

第1回 平成25年5月2日 福岡県庁7名

第2回 平成25年5月31日 吉塚合同庁舎 7名

第3回 平成25年8月21日 クローバープラザ 7名

第4回 平成25年10月18日 北九州市保健福祉センター 7名

3. 翼連絡会

第1回 平成25年6月6日

地域活動支援センター翼 4名

第2回 平成25年8月1日

地域活動支援センター翼 5名

第3回 平成25年10月3日

地域活動支援センター翼 7名

第4回 平成25年12月5日

地域活動支援センター翼 6名

第5回 平成26年2月13日

地域活動支援センター翼 6名

【主催した研修事業】

1. 福岡県高次脳機能障害支援事業研修会

- ・高次脳機能障害支援実践セミナー

（行政関係者編）

平成25年8月21日

クローバープラザ 81名

- ・高次脳機能障害支援実践セミナー

（医療・福祉・教育等従事者編）

平成25年10月18日

北九州市総合保健福祉センター 114名

- ・高次脳機能障害講演会

平成26年2月11日

クローバープラザ 192名

【主催したケース会議、勉強会、研究会、家族会、交流会等】

1. リハビリテーション中の方の家族会

12回開催 延参加者50名

あいあいセンター

2. 就労グループ あいあいセンター

第1回 平成25年7月7日 16名参加

あいあいセンター

第2回 平成26年2月16日 21名参加

あいあいセンター

3. 他機関とのケース会議

3回実施 延参加者13名

【協力した会合】

1. 連絡協議会参加

1) 厚労科研費研究班九州ブロック会議

平成25年7月26日 吉塚合同庁舎

2) 九州ブロック支援コーディネーター会議

第1回 平成25年7月26日

吉塚合同庁舎

第2回 平成25年10月11日～12日

宮崎県庁

3) 支援コーディネーター全国会議

第1回 平成25年6月25日

国立障害者リハビリテーションセンター

第2回 平成26年2月20日

三田共用会議所

4) 高次脳機能障害及び関連障害に関する支援普及全国連絡協議会及び厚労科研費「高次脳機能障害者の地域生活支援の推進に関する研究」

全体会議

第2回 平成26年2月21日

三田共用会議所

5) 高次脳機能障害がい支援連絡会

第1回 平成25年7月12日

あいあいセンター 7名

第2回 平成26年2月28日

福岡市障害がい者就労支援センター9名

2. 研修への講師派遣及び参加

1) 講師派遣

・たいようの里出前講座

「高次脳機能障害がいについて」和田明美

平成25年8月8日

障害者福祉施設たいようの里 13名

・福岡市人権推進委員研修

「高次脳機能障害がいについて」和田明美

平成25年9月12日

あいあいセンター 9名

・サンハウス職員研修

「高次脳機能障害がいについて」和田明美

平成25年10月24日、11月14日

障害がい者支援施設サンハウス 31名

・福岡県リハビリテーション講習会

グループディスカッション「高次脳機能障害

支援コーディネーターの活動を通じて」和田

明美

平成26年1月16日

北九州国際会議場 86名

2) 研修会等の参加

・自動車運転再開とリハビリテーションに関する研修会

平成25年10月5日 北九州国際会議場

・脳外傷友の会 第13回全国大会並びに高次脳機能障害支援コーディネーター研修会

平成25年9月27日、28日

ホルトホール大分

・福岡・翼の会総会 平成25年6月1日

・他機関開催のケース会議への参加 7回

延参加者62名

【活動内容】

・自立訓練（一部診療）による通所リハビリテーション

延利用者61名

（内平成25年度新規利用者35名）

延訓練件数1695件

*平成25年4月1日～平成26年3月31日

【事業課題】

- ・子どもの高次脳機能障害に対する相談支援体制作り
- ・関係機関との連携強化と支援機関の拡大
- ・自動車運転の希望に対する対応

平成25年4月24日	8名
平成25年5月29日	7名
平成25年7月17日	6名
平成25年9月4日	7名
平成25年9月18日	6名
平成25年10月2日	7名
平成25年12月4日	5名
平成26年3月5日	6名

<支援拠点(協力)機関名>

久留米大学病院 高次脳疾患研究所
 福岡県久留米市旭町6-7番地 0942-35-3311
 (代表)

【相談支援コーディネーター(職種)】

弥吉 江理奈 (精神保健福祉士)

【相談事業】

◇当事者/家族からの直接相談のべ件数

合計:271件

内訳:電話	100件
来院	169件
メール・書簡	1件
その他	1件

◇機関・施設等からの間接相談のべ件数

合計:79件

内訳:電話	64件
来院	8件
メール・書簡	4件
その他	3件

【主催した連絡会・協議会】

特になし

【主催した研修事業】

特になし

【主催したケース会議、勉強会、研究会、家族会、交流会等】

診断及び支援計画会議(ケース会議)

高次脳疾患研究所

【協力した会合】

1. 高次脳機能障害支援事業研修会への講師派遣及び参加

1) 高次脳機能障害支援実践セミナー(行政関係者編)

平成25年8月21日

クローバープラザ 研修室

2) 高次脳機能障害支援実践セミナー(福祉・医療・教育等従事者編)

平成25年10月18日

北九州市総合保健福祉センター 講堂

3) 高次脳機能障害講演会

平成26年2月11日

クローバープラザ クローバーホール

2. 合同会議:平成25年度厚労科研費研究班九州ブロック会議・高次脳機能障害支援担当者会議及び九州ブロック高次脳機能障害支援コーディネーター会議への参加

1) 平成25年度第1回厚労科研費研究班九州ブロック会議・高次脳機能障害支援担当者会議

平成25年7月26日 吉塚合同庁舎

2) 平成25年度第1回九州ブロック支援コーディネーター会議

平成25年7月26日 吉塚合同庁舎

3) 平成25年度第2回九州ブロック支援コーディネーター会議

平成25年10月11-12日 宮崎県庁

3. 高次脳機能障害相談支援体制連携調整委員会への参加

1) 第1回高次脳機能障害相談支援体制連携調整委員会

平成25年7月18日 吉塚合同庁舎

2) 第2回高次脳機能障害相談支援体制連携調整委員会

平成26年2月6日 吉塚合同庁舎

4. 支援コーディネーター全国会議への参加

1) 第1回支援コーディネーター全国会議

平成25年6月25日 国立障害者リハビリテーションセンター学院

2) 第2回支援コーディネーター全国会議

平成26年2月20日 三田共用会議所

5. ネットワーク会議への参加

1) 第1回ネットワーク会議

平成25年5月2日 県庁

2) 第2回ネットワーク会議

平成25年5月31日 吉塚合同庁舎

3) 第3回ネットワーク会議

平成25年8月21日 クローバープラザ

4) 第4回ネットワーク会議

平成25年10月18日 北九州市総合保健福祉センター

6. その他 参加及びオブザーバー参加

1) 平成25年度第1回高次脳機能障害支援普及全国連絡協議会

平成25年6月26日

国立障害者リハビリテーションセンター学院

2) 平成25年度高次脳機能障害支援事業関係職員研修会

平成25年6月26 - 28日

国立障害者リハビリテーションセンター学院

3) 福岡県リハビリテーション講習会

平成26年1月18日

北九州国際会議場・国際会議室

4) 平成25年度第2回高次脳機能障害支援普及全国連絡協議会

平成25年2月21日 三田共用会議所

【活動内容】

○広報・啓発：リーフレット及び社会資源名簿の配布

○診断評価(相談、診察、検査、診断及び支援計画会議)：新規8名

○リハビリ：毎週水曜PMの高次脳疾患研究所でのリハビリ参加者 全50回、のべ人数365名、一日平均7.3名

【事業課題】

・評価及び診断後の継続した支援(再評価を含む)

・精神科領域の既往歴(発達障害など)がある方への支援

・若年層の高次脳機能障害者への就学・就労支援

・画像所見陰性の症例への対応

佐賀県

<支援拠点(協力)機関名>

佐賀大学医学部附属病院

先進総合機能回復センター

(リハビリテーション科)

佐賀県佐賀市鍋島5丁目1番1号

0952-34-3285

【相談支援コーディネーター(職種)】

小野茂伸(言語聴覚士)

【相談事業】

◇当事者/家族からの直接相談のべ件数

合計：314件

内訳：電話 94 件
来院／来所 208 件
メール・書簡 2 件
その他 10 件

◇機関・施設等からの間接相談のべ件数

合計：325 件

内訳：電話 108 件
来院／来所 206 件
メール・書簡 3 件
その他 8 件

【主催した連絡会・協議会】

1) 会の名称：平成25年度第1回佐賀県高次脳機能障害者支援推進委員会

主催者：県及び拠点機関

日程：平成25年5月22日

開催場所：佐賀県庁

参加者数：22名

2) 会の名称：平成25年度第2回佐賀県高次脳機能障害者支援推進委員会

主催者：県及び拠点機関

日程：平成26年2月12日

開催場所：佐賀県庁

参加者数：22名

3) 会の名称：平成25年度第1回佐賀県高次脳機能障害者支援連絡会議

主催者：拠点機関

日程：平成25年9月27日

開催場所：佐賀中部保健福祉事務所

概要：拠点機関からの報告、県就労支援室の活動の紹介

参加者数：26名

4) 会の名称：平成25年度第2回佐賀県高次脳機能障害者支援連絡会議

主催者：拠点機関

日程：平成26年3月4日

開催場所：佐賀中部保健福祉事務所

概要：拠点機関からの報告、県立地域生活リハビリセンターからのお知らせ、ミニレクチャー

参加者数：23名

【主催した研修事業】

1) 研修会名：平成25年度第1回高次脳機能障害リハビリテーション講習会

日程：平成25年11月22日

開催場所：メートプラザ佐賀

講師：国立障害者リハビリテーションセンター 中島八十一先生

演題：「高次脳機能障害の医学的診断・治療と福祉の利用」

講師：埼玉県総合リハビリテーションセンター 東京福祉大学社会福祉学部 先崎章先生

演題：「高次脳機能障害への対応—精神症状や社会的行動障害の予防と対応を中心に」

参加者数：188名

2) 研修会名：平成25年度第2回高次脳機能障害リハビリテーション講習会

日程：平成26年1月11日

開催場所：佐賀市文化会館イベントホール

講師：岐阜医療科学大学 教授

阿部順子先生

演題：「高次脳機能障害の方の地域・生活支援」

参加者数：148名

【主催したケース会議、勉強会、研究会、家族会、交流会等】

1) 名称：ケースカンファレンス

日程：不定期（4回程度／月）

開催場所：佐賀大学医学部附属病院

概要：症例毎の評価後の本人、家族、関係者での話し合い

開催回数：47回

延べ参加者数：267名

2) 支援会議 (N様)

日程：平成25年7月10日

開催場所：佐賀大学医学部附属病院

参加者数：7名

3) 支援会議 (N様)

日程：平成25年12月9日

開催場所：佐賀大学医学部附属病院

参加者数：5名

4) 支援会議 (N様)

日程：平成26年3月26日

開催場所：佐賀大学医学部附属病院

参加者数：5名

5) 平成25年度第1回佐賀高次脳機能障害患者と家族の会

日程：平成25年7月7日

開催場所：佐賀大学医学部附属病院

参加者数：27名

6) 平成25年度第2回佐賀高次脳機能障害患者と家族の会

日程：平成26年1月19日

開催場所：佐賀大学医学部看護学科棟

参加者数：22名

7) 平成25年度第3回佐賀高次脳機能障害患者と家族の会

日程：平成26年3月2日

開催場所：佐賀大学医学部看護学科棟

参加者数：17名

【協力した会合】

1) 名称：平成25年度厚労科学研究費研究班九州ブロック会議

主催者：産業医科大学

日程：平成25年7月26日

場所：福岡県吉塚合同庁舎

参加者数：43名

2) 名称：平成25年度第1回精神障害者支援ネットワーク連絡会

主催者：佐賀中部保健福祉事務所

日程：平成25年4月26日

場所：佐賀中部保健福祉事務所

参加者数：30名

3) 名称：平成25年度第2回精神障害者支援ネットワーク連絡会

主催者：佐賀中部保健福祉事務所

日程：平成25年6月28日

場所：佐賀中部保健福祉事務所

参加者数：31名

4) 名称：平成25年度第3回精神障害者支援ネットワーク連絡会

主催者：佐賀中部保健福祉事務所

日程：平成25年8月23日

場所：県立地域生活リハビリセンター

参加者数：30名

5) 名称：平成25年度第5回精神障害者支援ネットワーク連絡会

主催者：佐賀中部保健福祉事務所

日程：平成25年12月20日

場所：佐賀中部保健福祉事務所

参加者数：28名

6) 支援会議 (S様)

日程：平成25年7月8日

場所：県立地域生活リハビリセンター

参加者数：8名

7) 支援会議 (S様)

日程：平成25年8月21日

場所：県立地域生活リハビリセンター

参加者数：9名

8) 支援会議 (S様)

日程：平成25年11月27日

場所：県立地域生活リハビリセンター

参加者数：10名

9) 支援会議 (H様)

日程：平成25年9月21日

場所：小島病院

参加者数：5名

10) 支援会議 (H様)

日程：平成25年11月2日

場所：小島病院

参加者数：3名

11) 支援会議 (H様)

日程：平成26年1月4日

場所：小島病院

参加者数：3名

12) 支援会議 (K様)

日程：平成25年10月28日

場所：夢ファーム

参加者数：5名

13) 平成25年度第1回高次脳機能障害リハビリテーション・ケア研修会

主催者：西九州大学、「ぷらむ」佐賀

日程：平成25年7月14日

場所：佐賀県駅北館3階ホール

講演：「高次脳機能障害者に対する病院での作業療法から就学・就労支援まで」

講師：白石共立病院 作業療法士

松尾崇史 先生

講義：当事者・家族の体験談

事例1) 30代女性 (本人)

事例2) 50代男性 (本人)

事例3) 40代男性 (母親)

事例4) 20代男性 (父親)

参加者数：66名

14) 高次脳機能障害者支援講演会・シンポジウム

主催者：「ぷらむ」佐賀、佐賀大学ヒューマンケア科学研究所

日程：平成25年12月15日

場所：佐賀大学医学部看護学科棟

講師：神戸大学大学院客員教授

関啓子 先生

演題：「心のバリアフリーを目指して—高次脳機能障害を経験した専門家からの提言」

参加者数：74名

【活動内容】

◇広報・啓発：HP・リーフレットによる広報、小城・多久障害者総合支援協議会での講演

◇診断評価・リハビリ（入院、外来）：相談に引き続き評価等実施

◇その他：高次脳機能障害に対応できる医療機関の一覧表の活用

【事業課題】

・市・町の窓口担当者に対する啓発と連携の強化

長崎県

<支援拠点(協力)機関名>

長崎県長崎こども・女性・障害者支援センター

精神保健福祉課 高次脳機能障害者支援班

長崎県長崎市橋口町10-22

TEL：095-844-5515

【相談支援コーディネーター(職種)】

井戸 裕彦 (作業療法士)

【相談事業】

◇当事者/家族からの直接相談のべ件数

合計：200件

内訳：電話 128件